

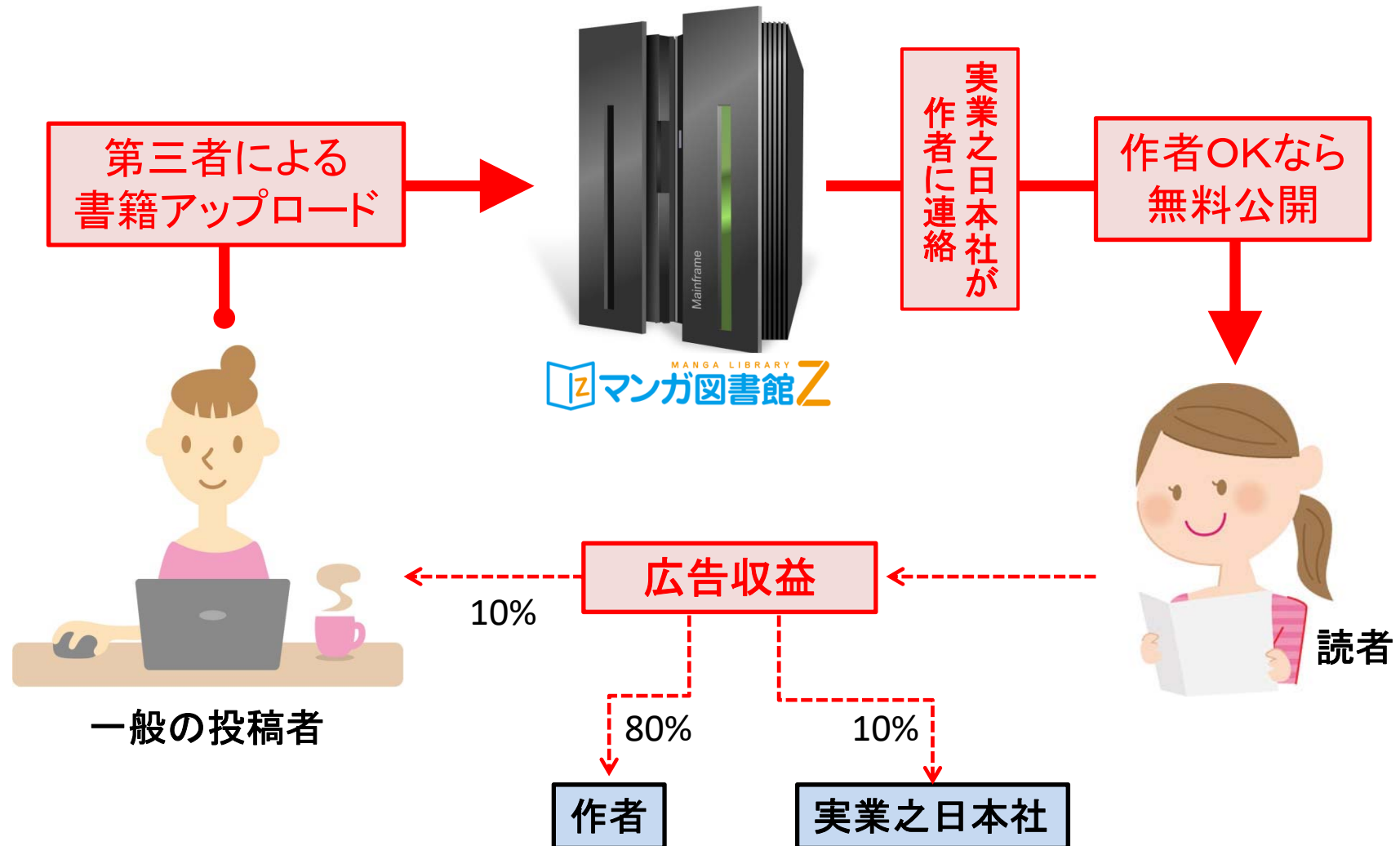
# 図書館からの家庭配信などの提案

赤松 健／漫画家・日本漫画家協会常務理事

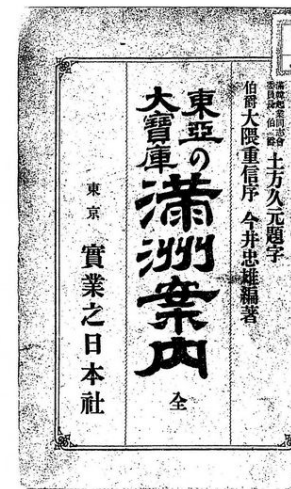
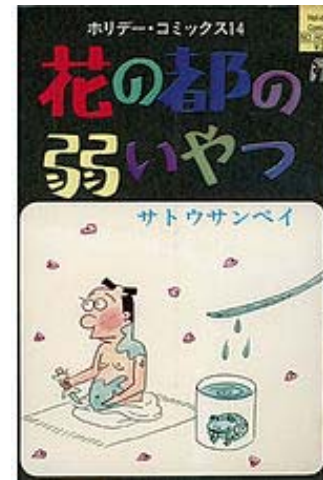
## 感謝の言葉

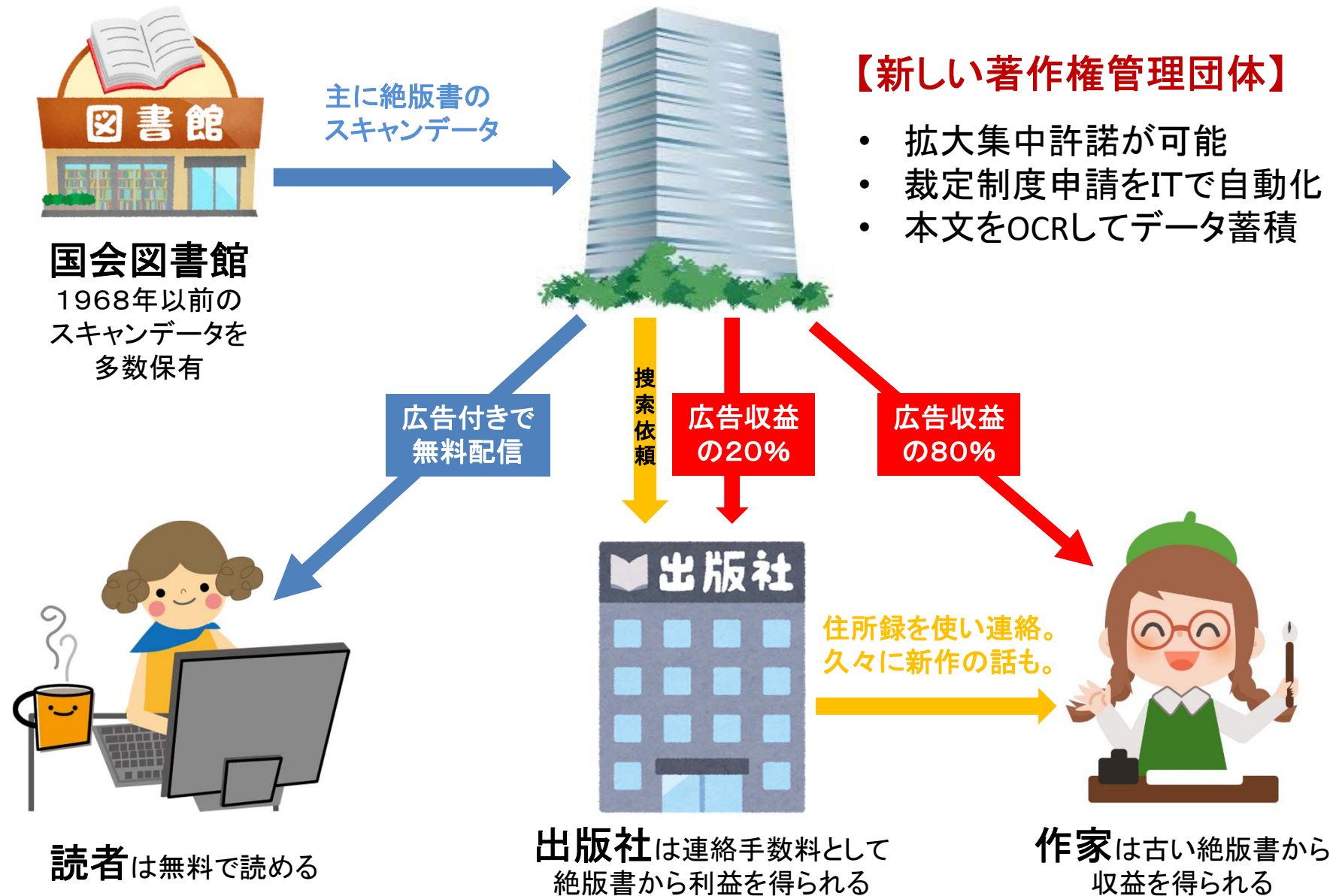
皆さんの活動のおかげで、  
日本の二次創作文化が守られました。  
本当にありがとうございました。

# 【参考】実業之日本社と組んだ実証実験の仕組み



# 【 無料公開の許諾が得られた作品群 】





## 【図書館・出版社・作者・読者のメリット】

### ★ 国会図書館のメリット

- 今のところ死蔵されているスキャンデータを、有効活用できる。
- 出版社や作者との対立関係を解消し、新たな協力体制を築く。
- 権利者の許諾を得た「図書館→家庭」間送信で、新たな閲覧スタイルを得る。
- 「文字列検索」と「ビッグデータ蓄積」という分野に踏み込む。

### ★ 出版社のメリット

- もはや電子化の予定が無い過去の出版物を、ゼロ投資で電子化していくことができる。
- その際、(著作権のない絶版書からでも、なぜか)広告収益の20%を得られる。
- 新刊書や取扱中の電子書籍には全く影響が無い。

### ★ 作者(権利者)のメリット

- リクープできないため電子化が難しかった古い作品を、次々電子化できる可能性がある。また永続的な不労所得がある。
- 出版社が間に入ってくれるので安心。

### ★ 読者(国民)のメリット

- 家庭で、無料で、古い絶版書を閲覧できる。文字列検索もできる。